

<第6章 調査票〔単純集計結果〕>

最初に、あなたご自身のことについてお尋ねします。

以下のQ. 1からQ. 12までは、本調査でいただいた回答が性別によってどう違うか、年代別にはどういう違いが見られるか、などといった分析をするうえで必要な質問です。ご協力をお願いします。

F 1 性別（1つだけ○印）

（回答者数 1,468人）

	項目	回答数	回答比率
1	男性	654	44.6%
2	女性	808	55.0%
3	その他	3	0.2%
	無回答	3	0.2%

F 2 年代（1つだけ○印）

（回答者数 1,468人）

	項目	回答数	回答比率
1	10歳代	23	1.6%
2	20歳代	112	7.6%
3	30歳代	258	17.6%
4	40歳代	382	26.0%
5	50歳代	322	21.9%
6	60歳代	256	17.4%
7	70歳以上	112	7.6%
	無回答	3	0.2%

F 3 職業（従事する時間が長いものに1つだけ○印）

（回答者数 1,468人）

	項目	回答数	回答比率
1	農林業	62	4.2%
2	漁業	6	0.4%
3	商工サービス業自営	78	5.3%
4	事務職	242	16.5%
5	技術職	272	18.5%
6	労務職	229	15.6%
7	管理職	81	5.5%
8	自由業	24	1.6%
9	主婦・主夫	130	8.9%
10	学生	43	2.9%
11	無職	140	9.5%
12	その他	150	10.2%
	無回答	11	0.7%

F 4 就業上の地位（従事する時間が長いものに1つだけ○印）

（回答者数 1,468人）

	項目	回答数	回答比率
1	正規の職員・従業員	653	44.5%
2	契約社員・嘱託・派遣職員	101	6.9%
3	パート・アルバイト	210	14.3%
4	会社などの役員	51	3.5%
5	自営業主（従業員の雇用あり）	38	2.6%
6	自営業主（従業員の雇用なし、事務所・店舗あり）	65	4.4%
7	フリーランス（従業員の雇用なし、事務所・店舗なし）	27	1.8%
8	自家営業の手伝い（家族従業者）	49	3.3%
9	仕事をしていない	254	17.3%
	無回答	20	1.4%

※ 「自営業主」とは、個人経営の商店主・工場主・農業主・開業医・弁護士などをいいます。

ただし、会社組織になっている商店などの経営者は、自営業主とはしないで、会社などの役員とします。

※ 育児休業や介護休業などのため一時的に休んでいる場合は「9 仕事をしていない」とせず、1から8の中から回答してください。

※ 「自家営業の手伝い」とは、自営業主の家族で、事業を無給で手伝っている人をいいます。

給料・賃金をもらっている場合は、家族であっても、1から4の中から回答してください。

F 5 あなたの属性（1つだけ○印）

（回答者数 1,468人）

	項目	回答数	回答比率
1	世帯主	618	42.1%
2	世帯主ではない（世帯員）	839	57.2%
	無回答	11	0.7%

F 6 婚姻状況（1つだけ○印）

（回答者数 1,468人）

	項目	回答数	回答比率
1	未婚	447	30.4%
2	既婚	878	59.8%
3	その他（離別、死別を含む）	133	9.1%
	無回答	10	0.7%

F 7 子どもの状況（同居・別居に関わらずお答えください。）

（当てはまるものすべてに○印）

（回答者数 1,468人）

	項目	回答数	回答比率
1	就学前の子どもがいる	162	11.0%
2	小・中学生の子どもがいる	254	17.3%
3	高校生の子どものいる	108	7.4%
4	大学生、専門学校生等の子どもがいる	102	6.9%
5	子どもは成人している（「3～4」を除く）	515	35.1%
6	その他	19	1.3%
7	子どもはいない	516	35.1%
	無回答	15	1.0%

F 8 あなた個人の年間収入（税込み）（1つだけ○印）

（回答者数 1,468人）

	項目	回答数	回答比率
1	収入なし	152	10.4%
2	100万円未満	174	11.9%
3	100～200万円未満	262	17.8%
4	200～300万円未満	304	20.7%
5	300～400万円未満	186	12.7%
6	400～600万円未満	213	14.5%
7	600～800万円未満	93	6.3%
8	800～1,000万円未満	25	1.7%
9	1,000万円以上	24	1.6%
10	その他（自営業等により、世帯として収入を得ており、個人としての収入は算定困難）	11	0.7%
	無回答	24	1.6%

F 9 世帯全体の年間収入（税込み）（1つだけ○印）

（回答者数 1,468人）

	項目	回答数	回答比率
1	100万円未満	63	4.3%
2	100～200万円未満	138	9.4%
3	200～300万円未満	207	14.1%
4	300～400万円未満	183	12.5%
5	400～600万円未満	335	22.8%
6	600～800万円未満	244	16.6%
7	800～1,000万円未満	115	7.8%
8	1,000万円以上	139	9.5%
	無回答	44	3.0%

F10 お住まいの状況（1つだけ○印）

（回答者数 1,468人）

	項目	回答数	回答比率
1	持家	1,245	84.8%
2	借家	208	14.2%
	無回答	15	1.0%

F11 お住まいの場所（広域市町村圏）（1つだけ○印）

（回答者数 1,468人）

	項目	回答数	回答比率
1	高知市	663	45.2%
2	安芸広域圏	89	6.1%
3	南国・香美広域圏	232	15.8%
4	嶺北広域圏	25	1.7%
5	仁淀川広域圏	112	7.6%
6	高吾北広域圏	51	3.5%
7	高幡広域圏	115	7.8%
8	幡多広域圏	177	12.1%
	無回答	4	0.3%

F12 お住まいの地域（沿岸部・非沿岸部）（1つだけ○印）

(回答者数 1,468 人)

	項目	回答数	回答比率
1	沿岸部	381	26.0%
2	非沿岸部	1,074	73.2%
	無回答	13	0.9%

※ お住まいの地域が沿岸部かどうかの判断に迷う場合は、海（海岸、岸壁、港、湾、河口付近）から直線距離で約5 km（または車で約10分）を目安にしてください。

1. 県の基本政策について

高知県では、現在、県勢の浮揚を図り、将来に希望の持てる県づくりに向けて、5つの基本政策に基づいた取り組みを進めるとともに、それらの政策に横断的にかかわる3つの政策に取り組んでいます。

【5つの基本政策】

①経済の活性化

(農業、林業、水産業、商工業、観光の各分野や、デジタル化・グリーン化・グローバル化の促進、外商活動の全国展開、担い手の育成・確保など産業振興計画の取り組み)

②日本一の健康長寿県づくり

(健康寿命の延伸に向けた意識醸成と行動変容の促進、地域で支え合う医療・介護・福祉サービス提供体制の確立とネットワークの強化、子どもたちを守り育てる環境づくり)

③教育の充実と子育て支援

(知・徳・体の調和のとれた子どもたちの育成、多様な子どもたちへの支援の充実、デジタル社会に向けた教育の推進など)

④南海トラフ地震対策の抜本強化・加速化

(地震発生直後の命を守る対策、助かった命をつなぐための応急期の対策、早期の復旧・復興に向けた生活を立ち上げる対策など)

⑤インフラの充実と有効活用

(県民の安全・安心につながる道路、河川、港湾などの整備、公共交通機関の維持確保など)

【5つの基本政策に横断的にかかわる3つの政策】

⑥中山間対策の充実・強化

(集落活動センターの普及・拡大、担い手の確保・育成、生活用品・移動手段の確保、鳥獣被害対策など)

⑦少子化対策の充実・強化と女性の活躍の場の拡大

(出会い・結婚、妊娠・出産、子育てなどのライフステージの各段階に応じた切れ目のない対策、就職や起業に向けた支援など)

⑧文化芸術とスポーツの振興

(文化芸術を鑑賞できる機会の充実・発表する機会の拡充、文化芸術活動を支える人材の育成、スポーツ参加の拡大、競技力の向上、スポーツを通じた活力ある県づくりなど)

県の進めている8つの基本的な政策について、以下それぞれお伺いします。

問1 「経済の活性化」について、第4期高知県産業振興計画に基づき、県が行っている施策のうち特に力を入れるべきものは何ですか。（3つまで○印）

（回答者数 1,468人）

	項目	回答数	回答比率
1	農林水産業の生産地の強化	463	31.5%
2	加工食品や機械などのものづくり産業の振興	204	13.9%
3	観光の振興	457	31.1%
4	県産品等の地産外商の促進（外商活動の全国展開、グローバル化に対応した輸出のさらなる拡大）	282	19.2%
5	県外からの移住の促進	283	19.3%
6	起業や新たな事業展開を志す方への支援	246	16.8%
7	産業の担い手の育成・確保	560	38.1%
8	各産業分野におけるデジタル化の促進	116	7.9%
9	SDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けた事業活動の促進	116	7.9%
10	防災関連産業、IT・コンテンツ関連産業、グリーン化関連産業※ ¹ など新たな産業の創出	218	14.9%
11	県内事業者の経営基盤の強化（事業戦略の策定・実行への支援、金融支援）	288	19.6%
12	企業の誘致	345	23.5%
13	地域の商店街等の活性化	324	22.1%
14	産学官民連携によるイノベーションの創出※ ²	108	7.4%
15	その他	30	2.0%
	無回答	12	0.8%

※1 脱炭素化につながる新たな製品、サービスの開発等の支援や、自然・体験型の観光等を推進。

※2 新たな時代の経済成長の原動力となる「デジタル化」、「グリーン化」、「グローバル化」といった視点から、農業、林業、水産業、商工業など各分野の取り組みを強化することに加え、県内外から多くの人材や知恵、資本などを呼び込むことで、産学官民が連携した新たなイノベーションを創出。

問2 「日本一の健康長寿県づくり」について、第4期日本一の健康長寿県構想に基づき、県が行っている施策のうち特に力を入れるべきものは何ですか。(3つまで○印)

(回答者数 1,468人)

	項目	回答数	回答比率
1	生涯にわたる健康的な生活習慣の定着	424	28.9%
2	がん対策や脳血管疾患・心臓病・糖尿病などの血管病対策の推進	250	17.0%
3	在宅医療・介護の推進	406	27.7%
4	高齢者がいつまでも元気に暮らせる地域づくり※ ¹	438	29.8%
5	高知型地域共生社会の実現に向けた市町村の包括的な支援体制の整備の推進※ ²	266	18.1%
6	地域住民やボランティア、起業、NPOなど多様な主体の参画による子育て支援と見守り活動など人と人とのつながりの再生に向けたネットワークづくり	189	12.9%
7	障害のある方が地域で安心して暮らしていくことができる環境づくり	192	13.1%
8	救急医療体制の強化	369	25.1%
9	医師等の地域偏在の是正	245	16.7%
10	介護などのサービス提供を担う人材の安定確保	458	31.2%
11	妊娠期から子育て期まで切れ目のない包括的な支援	369	25.1%
12	厳しい環境にある子どもたちへの支援	313	21.3%
13	デジタル化の推進(オンライン診療の推進やICTを活用した高齢者の見守り体制の整備など)	131	8.9%
14	その他	24	1.6%
	無回答	11	0.7%

※1 介護予防や生活支援サービスの充実・強化など、高齢者がいつまでも元気に安心して日々を暮らせる対策。

※2 80代の高齢者が50代のひきこもりなどの方を支える8050問題やヤングケアラーなどの複雑化・複合化した課題への対応として、断らない相談窓口や分野を超えた多機関協働の支援会議の設置、孤立を防ぐ地域づくりなどを一体的に整備する施策。

問3 「教育の充実と子育て支援」について、第2期教育等の振興に関する施策の大綱に基づき、県が行っている施策のうち特に力を入れるべきものは何ですか。(3つまで○印)

(回答者数 1,468人)

	項目	回答数	回答比率
1	学力向上に向けた学校の組織力の強化 ^{※1}	535	36.4%
2	道徳教育の推進	397	27.0%
3	運動能力の向上、運動習慣の確立	254	17.3%
4	社会的・職業的自立に向けたキャリア教育の推進	394	26.8%
5	発達障害など特別な支援を必要とする子どもへの指導・支援の充実	279	19.0%
6	貧困の世代間連鎖を教育によって断ち切るための支援の充実 ^{※2}	418	28.5%
7	いじめや暴力行為、不登校などへの対策の充実	527	35.9%
8	パソコンやタブレット等を活用した教育の推進	211	14.4%
9	地域の方々との連携・協働による学習やスポーツ活動などの推進	215	14.6%
10	就学前の教育・保育の充実	194	13.2%
11	生涯にわたって学び続けられる環境づくりの推進	288	19.6%
12	学校における働き方改革の推進 ^{※3}	298	20.3%
13	その他	46	3.1%
	無回答	9	0.6%

※1 教員同士がチームを組んで主体的に学び合うことにより組織的に授業力の向上などを図る。

※2 家庭の経済状況と子どもの学力等には相関関係があり、貧困の世代間連鎖が危惧される状況であることから、保護者の子育て力の向上や放課後等における学習の場の充実などを図る。

※3 教員が子どもと向き合う時間を確保し、限られた時間の中で最大の教育効果を発揮できるよう、市町村教育委員会や学校等と連携し、業務の効率化・削減や外部人材の活用などを図る。

問4 「南海トラフ地震対策の抜本強化・加速化」について、第5期南海トラフ地震対策行動計画に基づき、県が行っている施策のうち特に力を入れるべきものは何ですか。

(3つまで○印)

(回答者数 1,468人)

	項目	回答数	回答比率
1	住宅の耐震化の促進	390	26.6%
2	津波からの避難場所や避難路の整備	442	30.1%
3	体育館などの避難所の確保や運営体制の充実	314	21.4%
4	支援物資が避難所に確実に届く体制づくり	624	42.5%
5	人命救助や医療、ボランティアなど県外からの支援を円滑に受け入れる態勢の強化	347	23.6%
6	前方展開型による医療救護体制の推進 ^{※1}	163	11.1%
7	防災教育の強化	187	12.7%
8	高齢者や障害者などの要配慮者の方々を地域で支え合う仕組みづくり	234	15.9%
9	地震火災・津波火災対策の推進	126	8.6%
10	津波や浸水による被害を防ぐ防潮堤などのハード整備	236	16.1%
11	南海トラフ地震臨時情報 ^{※2} が発表された場合に備えた対策の推進	142	9.7%
12	自主防災組織など人のつながりの強化	172	11.7%
13	発災後の応急対策活動や住民生活に必要な燃料の確保対策	254	17.3%
14	住民生活や経済活動を早期に再建・再開するための復旧・復興対策	468	31.9%
15	その他	17	1.2%
	無回答	13	0.9%

※1 負傷者を病院に搬送できないことが想定されるため、より負傷者に近い場所で医療救護活動が行える体制づくりを強化していくこと。

※2 南海トラフ地震臨時情報：南海トラフ沿いで異常な現象（東海地震の発生など）が観測され、大規模地震発生の可能性が平常時より相対的に高まったと評価された場合に、気象庁から発表される情報。

問5 「インフラの充実と有効活用」について、県が行っている施策のうち特に力を入れるべきものは何ですか。(2つまで○印)

(回答者数 1,468人)

	項目	回答数	回答比率
1	他の地域とのつながりを強化する高速道路等の整備	352	24.0%
2	日常生活を支える国道や県道等の整備	602	41.0%
3	台風・豪雨に備えた河川の浚渫、堤防の整備や土砂災害対策の推進	468	31.9%
4	南海トラフ地震の津波に備えた海岸及び河川堤防等の整備	299	20.4%
5	既存インフラの維持管理や老朽化対策	421	28.7%
6	公共交通機関の維持確保	331	22.5%
7	高速道路や空港、港湾等を活用した人流・物流対策	150	10.2%
8	新幹線の実現や空港の国際化	166	11.3%
9	その他	13	0.9%
	無回答	17	1.2%

問6 「中山間対策の充実・強化」について、県が行っている施策のうち特に力を入れるべきものは何ですか。（2つまで○印）

（回答者数 1,468人）

	項目	回答数	回答比率
1	食料品や日用品などの確保	363	24.7%
2	地域での医療・介護の確保	621	42.3%
3	買い物や通院のための移動手段の確保	651	44.3%
4	地域で収入を得ることができる産業づくり	465	31.7%
5	集落の維持・再生に向けた地域の支え合いの仕組みづくり	179	12.2%
6	移住促進等による地域活動などの担い手の確保	154	10.5%
7	地域での教育の拠点となる高等学校の確保	56	3.8%
8	鳥獣被害への対策	109	7.4%
9	スマートフォンやパソコン等で高速通信が可能となる情報基盤の整備	193	13.1%
10	その他	15	1.0%
	無回答	9	0.6%

問7 「少子化対策の充実・強化と女性の活躍の場の拡大」について、県が行っている施策のうち特に力を入れるべきものは何ですか。（2つまで○印）

（回答者数 1,468人）

	項目	回答数	回答比率
1	地域や職場など社会全体で結婚や子育てを応援する機運の醸成	294	20.0%
2	出会いや結婚への支援を希望する独身者への出会いの機会の創出	228	15.5%
3	安心して妊娠・出産できる環境の整備	420	28.6%
4	子育てや教育にかかる経済的な負担の軽減	707	48.2%
5	子どもの預け先の確保など子育て支援サービスの充実	334	22.8%
6	家事・育児の分担など家庭における男女共同参画の推進	88	6.0%
7	いったん子育て等に専念しても、希望すれば再就職できるための支援	214	14.6%
8	仕事と育児・介護などの家庭生活の両立に理解がある職場づくり	405	27.6%
9	場所や時間に制約されない仕事につながる専門技術等のスキルアップ支援（デジタルスキル等）	99	6.7%
10	その他	18	1.2%
	無回答	16	1.1%

「文化芸術とスポーツの振興」について、以下それぞれお伺いします。

問8 文化芸術の振興について、特に力を入れるべきものは何ですか。(2つまで○印)

(回答者数 1,468人)

	項目	回答数	回答比率
1	ホール・劇場、美術館、博物館等の文化施設の充実	527	35.9%
2	文化芸術を鑑賞・体験できる機会の充実	739	50.3%
3	文化芸術活動を発表する機会の拡充	147	10.0%
4	高知固有の文化の継承や活用	501	34.1%
5	文化芸術活動を支える人材の育成	355	24.2%
6	文化芸術に関するイベント等の情報発信	287	19.6%
7	その他	31	2.1%
	無回答	38	2.6%

問9 スポーツの振興について、特に力を入れるべきものは何ですか。(2つまで○印)

(回答者数 1,468人)

	項目	回答数	回答比率
1	誰もが地域でスポーツに参加できるための環境づくり	806	54.9%
2	選手や指導者の育成による競技力の向上	565	38.5%
3	スポーツを通じた交流人口の拡大	355	24.2%
4	スポーツ施設・設備の充実	761	51.8%
5	その他	36	2.5%
	無回答	45	3.1%

改めて、5つの基本政策と3つの横断的にかかわる政策についてお伺いします。

問10 県が行っている8つの政策のうち、より一層力を入れて取り組むべきだと考えるものは何ですか。(2つまで○印)

(回答者数 1,468人)

	項目	回答数	回答比率
1	経済の活性化	868	59.1%
2	日本一の健康長寿県づくり	91	6.2%
3	教育の充実と子育て支援	527	35.9%
4	南海トラフ地震対策の抜本強化・加速化	454	30.9%
5	インフラの充実と有効活用	235	16.0%
6	中山間対策の充実・強化	239	16.3%
7	少子化対策の充実・強化と女性の活躍の場の拡大	336	22.9%
8	文化芸術とスポーツの振興	47	3.2%
	無回答	7	0.5%

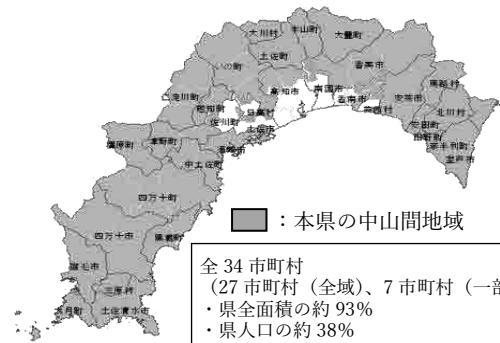
2. 中山間地域の活性化について

<高知県の中山間地域について>

高知県は県土の約9割を中山間地域が占め、そこに県民の約4割が暮らしています。

本県の基幹産業である農業や林業などの多くは中山間地域で営まれ、観光誘客における売りである海、山、川などの「豊かな自然」や「文化」の多くも中山間地域に存在しています。

加えて、森林が雨水を地中に蓄えることによる洪水の緩和など国土保全の面でも、また、憩いや癒やしの場としても、中山間地域は、本県にとってなくてはならないものです。



<これまでの取り組みの成果と課題>

県では、平成24年度から中山間対策を抜本強化し、「中山間地域の振興なくして県勢浮揚なし」との考えの下、産業や医療・福祉などの幅広い分野で様々な施策を推進しており、次のような成果も現れています。

- ・集落活動センターの開設数（令和4年度末現在）：65カ所
- ・あったかふれあいセンターの整備カ所数（令和4年度末現在）：346カ所
- ・地域アクションプランによる雇用の創出数
(平成21年度から令和4年度末までの累計)：1,971人
- ・野生鳥獣被害額の減少：359,776千円（平成24年度）→111,436千円（令和3年度）
- ・生活用水施設の整備（令和4年度末現在）：390地区
- ・県外からの移住者数（令和4年度）：1,185組1,730人

※統計を取り始めた平成23年度以降で最多

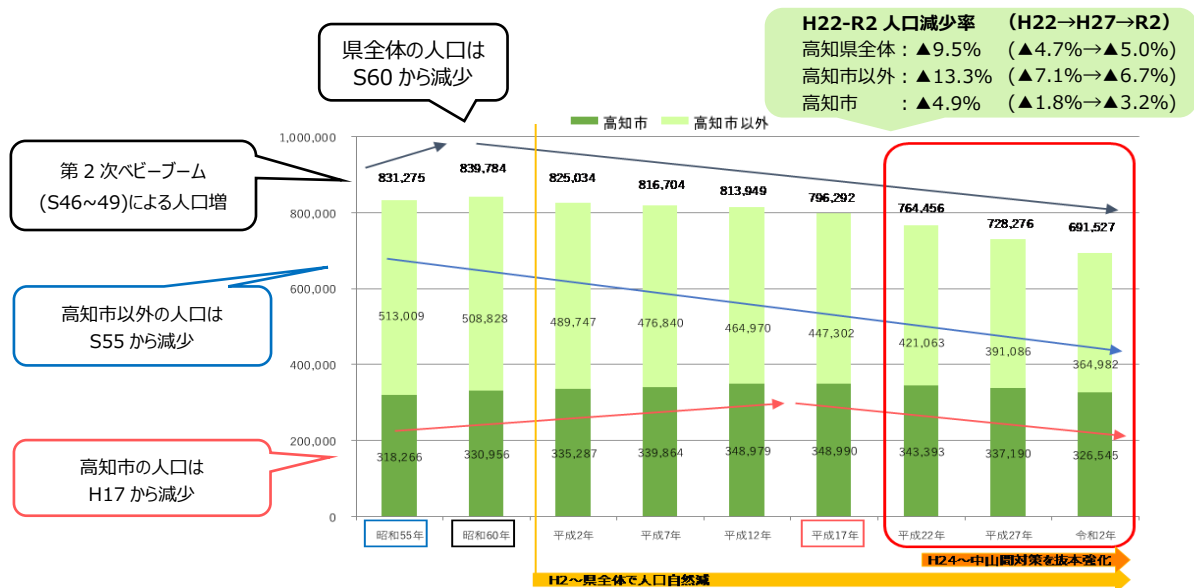
しかしながら、依然として、人口減少や少子高齢化には歯止めがかかっておらず、中山間地域を取り巻く環境は年々厳しさを増しています。

○高知市以外の人口は、13.3%減少（平成22年→令和2年）

○高知市以外の高齢化率は、増加
平成22年：32.9% → 令和2年：40.3%

○高知市以外の若年者数・若年者比率は、ともに減少
若年者数 平成22年：47,524人 → 令和2年：36,821人
若年者比率 平成22年：11.3% → 令和2年：10.2%

(本県人口の推移)



また、令和3年度に県が実施した「集落实態調査」の結果からは、地域や産業の担い手不足がより深刻化し、住民の方々が将来に不安を抱いている、といった現状を改めて確認しました。

- 集落代表者から見た集落の課題：集落で困っていること（課題や悩み）
- 「人口減少」：68.8%
 - 「集落活動の担い手不足」：45.5%
 - 「地域に若者がいない」：55.2%
 - 「集落長のなり手（リーダー）がいない」：35.4%
- （令和3年度集落实態調査）

<中山間地域再興ビジョンの策定>

このような厳しい状況の中にあっても、本県の中山間地域には、地域を次の世代に引き継いでいくために頑張っている方々が多くいらっしゃいます。

こうした住民の方々のお気持ちにお応えし、10年、20年先を見据えて中山間地域を次の世代に引き継いでいくための道しるべとなるよう、県民の皆さんや市町村、有識者の方々などのご意見を幅広くお聞きしながら、中山間地域の10年後の将来像とそれを実現するための施策や数値目標などを盛り込んだ「高知県中山間地域再興ビジョン」を、今年度、策定することとしています。

問 12 中山間地域が前述の重要な役割を担い続けていくために、中山間地域の 10 年後の将来像として目指すべき姿は何だと考えますか。(3 つまで○印)

(回答者数 1,468 人)

	項 目	回答数	回答比率
1	飲用水や生活用品、移動手段など、暮らし続けることができる生活環境が維持されている	755	51.4%
2	地域での見守り機能が維持され、医療・福祉サービスへのアクセスが確保されている	583	39.7%
3	集落活動センターや地域の運営組織などにより、複数の集落が連携して、住民主体の日々の助け合いや地域資源を活用した経済活動などが行われている	300	20.4%
4	地域の伝統的な祭りや民俗芸能が継承され、住民主体のイベントなどが行われている	172	11.7%
5	Uターンを含む県外からの移住や地元での就業・定住が進み、若者が増え、地域に住み続けている	628	42.8%
6	地元の高等学校で進路の希望を叶えられる学びの環境が整っている	182	12.4%
7	光ファイバーなどの高速情報通信網が整備され、遠隔医療や遠隔教育などデジタル技術を活用したサービスが受けられる	302	20.6%
8	一次産業の振興などにより、地域内の就業者や雇用の場が増え、収入も増加している	500	34.1%
9	起業や事業承継、IT企業の立地などにより、新たな就業の場が創出され、事業を発展・拡大させている	266	18.1%
10	その他	25	1.7%
	無回答	82	5.6%

3. 人口減少社会を踏まえた女性の活躍推進について

人口減少・少子高齢化が進む本県では、若い世代の都市部への流出が深刻な課題となっています。

特に、女性の転出数は、平成 22 年から令和元年までの 10 年間で累計 11,760 人であり、男性の累計転出数 7,975 人の 1.47 倍（全国 1.30 倍）と厳しい状況となっています。

若い世代、特に女性から積極的に選ばれる魅力ある高知県を目指し、転入・定着を促進することが喫緊の課題です。そのような背景もあり、本県では「高知県女性活躍推進計画アクションプラン」を策定し、

○女性が自らの希望や意思に基づいて人生を選択し、個性や能力を最大限に発揮できる高知県
 ○オール高知で女性の社会や職場での活躍を後押しし、日本一女性が活躍できる高知県の実現を目指して取り組んでいます。

※女性の活躍推進の課題を明らかにするため、「男性」と「女性」に限った記載にしています。

問 13 若年女性（39 歳以下）が、本県から都市部（東京等）に流出する理由は何だと思えますか。（3 つまで○印）

（回答者数 1,468 人）

	項 目	回答数	回答比率
1	希望する進学先がない	619	42.2%
2	やりたいと思える仕事が地方では見つけられない	910	62.0%
3	県内にどのような企業や仕事があるか知らない	141	9.6%
4	都市部と比べて給与水準が低い	931	63.4%
5	福利厚生やワークライフバランスの整った企業が少ない	281	19.1%
6	若者が楽しめる場所や施設が少ない	560	38.1%
7	男女問わず若者が少ない（出会いが少ない）	181	12.3%
8	地方では自分らしさや個性を自由に発揮できない	156	10.6%
9	人間関係が閉鎖的	151	10.3%
10	親や親戚に干渉されるのが煩わしい	129	8.8%
11	その他	37	2.5%
	無回答	17	1.2%

問 14 職業生活において女性が個性や能力を最大限に発揮するために、女性に対して、県によるどのような支援があれば効果的だと思いますか。（3つまで○印）

（回答者数 1,468人）

	項 目	回答数	回答比率
1	女性の自己肯定感やモチベーションを高めるための支援	386	26.3%
2	これまで女性が少なかった分野にもチャレンジできるような、女性のキャリア形成支援	630	42.9%
3	ライフステージや状況に応じた就業支援	724	49.3%
4	育児や介護との両立のための情報提供（支援が必要なときに使えるよう、しっかり情報を届けること）	819	55.8%
5	管理職等の女性リーダーを育成するための支援	260	17.7%
6	女性社員の意見交換や異業種交流に向けた支援	219	14.9%
7	個性や能力に応じた進路を選ぶことができるような、児童や学生等へのキャリア教育	532	36.2%
8	その他	49	3.3%
	無回答	29	2.0%

問 15 あなたの職場において、男女の地位（意思決定への影響力や待遇など）は平等になっていると思いますか。

あなたの気持ちに最も近いものを選んでください。（1つだけ○印）

（回答者数 1,468人）

	項 目	回答数	回答比率
1	男性の方が非常に優遇されている	102	6.9%
2	どちらかといえば男性の方が優遇されている	426	29.0%
3	平等	470	32.0%
4	どちらかといえば女性の方が優遇されている	97	6.6%
5	女性の方が非常に優遇されている	19	1.3%
6	わからない	324	22.1%
	無回答	30	2.0%

※直近1年以内にお仕事をされていない方は、「6 わからない」を選んでください。現在お仕事をされていなくても過去1年以内に勤務されていた場合は、そのときの気持ちに近いものを選んでください。

問 16 本県において女性がいきいきと活躍できる職場をつくるために必要な、職場風土の改革につながる取組として効果的だと思うものはどれですか。（3つまで○印）

（回答者数 1,468人）

	項 目	回答数	回答比率
1	ワークライフバランスの推進や多様な人材の活用のための経営者等に向けた啓発	279	19.0%
2	育児と仕事の両立に向けた社内の相互理解の促進	791	53.9%
3	男性の育児休業の取得促進	265	18.1%
4	仕事と生活の両立に向けた環境整備（年次有給休暇の取得促進やリフレッシュ休暇の導入など）	673	45.8%
5	柔軟な時間に働ける環境整備（短時間正社員やフレックスタイム制の導入など）	690	47.0%
6	身体的負担が大きいなど性別や年齢によって就業する人が限定されやすい仕事に誰もが就業しやすい環境整備（デジタル技術や設備の導入）	221	15.1%
7	場所にとらわれない働き方の推進（テレワークや在宅勤務など）	378	25.7%
8	性別に関わらず、人材育成の機会が与えられること	351	23.9%
9	企業の経営方針決定過程への女性の参画促進（役員・管理職への女性の登用促進）	150	10.2%
10	その他	29	2.0%
	無回答	32	2.2%

問 17 あなたの家庭生活において、男女の地位（意思決定への影響力や役割分担など）は平等になっていると思いますか。

あなたの気持ちに最も近いものを選んでください。（1つだけ○印）

（回答者数 1,468人）

	項 目	回答数	回答比率
1	男性の方が非常に優遇されている	144	9.8%
2	どちらかといえば男性の方が優遇されている	444	30.2%
3	平等	571	38.9%
4	どちらかといえば女性の方が優遇されている	100	6.8%
5	女性の方が非常に優遇されている	22	1.5%
6	わからない	167	11.4%
	無回答	20	1.4%

問 18 本県において男性が家庭で活躍するために必要な支援として効果的と思うものは何だと思えますか。（2つまで○印）

（回答者数 1,468人）

	項 目	回答数	回答比率
1	男性が家事・育児・介護に参画するための啓発	479	32.6%
2	男性の家事・育児・介護と仕事の両立に向けた不安を解消するための支援	622	42.4%
3	男性が家事・育児・介護のスキルを学べるセミナー等の開催	312	21.3%
4	家事・育児・介護を行う男性のコミュニティづくり	290	19.8%
5	固定的な性別役割分担意識を持たせないような、児童や学生等への教育	681	46.4%
6	その他	46	3.1%
	無回答	37	2.5%

4. 南海トラフ地震対策について

高知県では「南海トラフ地震対策行動計画」を策定し、ハード・ソフトの両面から様々な対策を進めています。被害を軽減するためには、県民の皆さま一人ひとりの備えとしての「自助」の取り組みや、地域で支え合う「共助」の取り組みが重要です。

県民の皆さまのご協力のもと、「自助」、「共助」、「公助」が一体となった取り組みをしっかりと進めてまいります。

問 19 南海トラフ地震が発生したとき、高知県内では最大で約 42,000 人の方が亡くなると想定されており、そのうち約 36,000 人の方が津波によって亡くなると想定されています。あなたのお宅は津波で浸水が予測される地域ですか。（1つだけ○印）

（回答者数 1,468 人）

	項目	回答数	回答比率
1	津波で浸水が予測される地域である	453	30.9%
2	津波で浸水が予測される地域ではない	886	60.4%
3	わからない	104	7.1%
	無回答	25	1.7%

※ 津波の浸水想定（浸水の深さ、到達時間など）は、市町村のハザードマップで確認することができます。また、高知県のホームページ（高知県防災マップ）でもご確認いただけます。住所を入力して検索することもできますので、下の二次元バーコードからご確認ください。

【高知県防災マップ】



副問 1 （問 19 で「1」を選んだ方のみお答えください。）

南海トラフ地震が発生したとき、高知県では、最も早いところで地震の揺れ始めから 3 分程度で、津波が海岸線に到達すると予測されています。

あなたがお自宅にいるときに、今まで経験したことがないような大きな揺れに襲われ、その揺れが 1 分以上続いたとします。あなたはいつ避難しますか。（1つだけ○印）

（回答者数 453 人）

	項目	回答数	回答比率
1	揺れがおさまった後、すぐに	338	74.6%
2	津波警報が出たら	49	10.8%
3	市町村から避難の呼びかけがあったら	22	4.9%
4	家族や周りの人が避難したら	16	3.5%
5	マンション等の高層階に住んでいるため避難しない	16	3.5%
6	避難しない	11	2.4%
	無回答	1	0.2%

副問2 (問19で「1」を選んだ方のみお答えください。)

あなたのご自宅がある地域は、地震が発生してから何分で津波が到達すると想定されていますか。津波ハザードマップで示されている津波の到達時間をお答えください。
(1つだけ○印)

(回答者数 453人)

	項目	回答数	回答比率
1	0分から5分	58	12.8%
2	5分から10分	75	16.6%
3	10分から20分	77	17.0%
4	20分から30分	52	11.5%
5	30分から40分	24	5.3%
6	40分から60分	28	6.2%
7	60分以上	19	4.2%
8	分からない	100	22.1%
	無回答	20	4.4%

問20 あなたのご自宅では、固定が必要な家具や家電などを固定していますか。
(1つだけ○印)

(回答者数 1,468人)

	項目	回答数	回答比率
1	固定している	252	17.2%
2	寝室(子ども部屋を含む)だけは固定している	94	6.4%
3	固定が必要な家具や家電などを居室内(寝室、子ども部屋など)に置いていない	271	18.5%
4	固定が必要な家具や家電などがあるが固定していない	839	57.2%
	無回答	12	0.8%

問21 大規模災害が発生した時は、県外からの応援が届くまでに時間がかかるため、各ご家庭でも飲料水・食料の備蓄をすることが重要です。

あなたのご自宅では、日常的に消費するものとは別に、災害用の備えとして、長期保存の飲料水と食料の備蓄を行っていますか。(それぞれ1つだけ○印)

【飲料水】

(回答者数 1,468人)

	項目	回答数	回答比率
1	7日分以上を備蓄している	91	6.2%
2	3日～6日分を備蓄している	313	21.3%
3	2日分を備蓄している	263	17.9%
4	1日分を備蓄している	172	11.7%
5	備蓄していない	608	41.4%
	無回答	21	1.4%

【食料】

(回答者数 1,468人)

	項目	回答数	回答比率
1	7日分以上を備蓄している	65	4.4%
2	3日～6日分を備蓄している	301	20.5%
3	2日分を備蓄している	287	19.6%
4	1日分を備蓄している	163	11.1%
5	備蓄していない	621	42.3%
	無回答	31	2.1%

※5年保存水、7年保存水などの長期保存水や、乾パン、アルファ化米などの非常用保存食品をいいます。

※飲料水は、1人1日3リットル必要と言われています。

問 22 問 21 でお聞きした長期保存水や非常用保存食品とは別に、あなたのご自宅には、日常的に消費する飲料水、食料のストックが、おおよそ何日分ありますか。

(それぞれ1つだけ○印)

【飲料水】

(回答者数 1,468人)

	項 目	回答数	回答比率
1	7日分以上に相当する量がある	138	9.4%
2	3日～6日分に相当する量がある	337	23.0%
3	2日分に相当する量がある	349	23.8%
4	1日分に相当する量がある	260	17.7%
5	1日分に満たない	353	24.0%
	無回答	31	2.1%

【食料】

(回答者数 1,468人)

	項 目	回答数	回答比率
1	7日分以上に相当する量がある	126	8.6%
2	3日～6日分に相当する量がある	466	31.7%
3	2日分に相当する量がある	380	25.9%
4	1日分に相当する量がある	222	15.1%
5	1日分に満たない	237	16.1%
	無回答	37	2.5%

副問 1 (問 21 と問 22 で回答した量が、合計しても3日分に満たない方のみお答えください。)

飲料水、食料を3日分以上確保していない(できていない)のはどのような理由からですか。(それぞれ、最も大きな理由に1つだけ○印)

【飲料水】

(回答者数 628人)

	項 目	回答数	回答比率
1	必要性を感じていない	62	9.9%
2	手間がかかる	48	7.6%
3	費用がかかる	95	15.1%
4	置き場所がない	116	18.5%
5	まとまった量を購入する習慣がない	226	36.0%
6	その他	35	5.6%
	無回答	46	7.3%

【食料】

(回答者数 564人)

	項 目	回答数	回答比率
1	必要性を感じていない	46	8.2%
2	手間がかかる	45	8.0%
3	費用がかかる	118	20.9%
4	置き場所がない	98	17.4%
5	まとまった量を購入する習慣がない	195	34.6%
6	その他	22	3.9%
	無回答	40	7.1%

※飲料水、食料のうち、問 21 と問 22 で回答した量が、合計しても3日分に満たないもののみお答えください。

合計で3日分以上を確保できている項目は回答不要です。

問23 大規模災害が発生すると、人命救助を行う緊急車両への給油が優先されるため、一般の車両はしばらくの間、ガソリンスタンドで給油を受けられなくなります。

したがって、災害が発生したときに車を使用するためには、平時からこまめに給油し、車の燃料を多めに保つことが必要です。

あなたは、普段、車への給油をいつ、どのくらい行いますか。(それぞれ1つだけ○印)

【いつ】

(回答者数 1,468人)

	項目	回答数	回答比率
1	残量が半分くらいになった時	462	31.5%
2	残量が4分の1程度になった時	527	35.9%
3	残量がほとんど無くなった時	379	25.8%
4	給油する機会はない	86	5.9%
	無回答	14	1.0%

【どのくらい】

(回答者数 1,468人)

	項目	回答数	回答比率
1	満タンにする	1,134	77.2%
2	満タンにせず、一定の量を入れる	67	4.6%
3	満タンにせず、一定の金額分を入れる	159	10.8%
4	給油する機会はない	88	6.0%
	無回答	20	1.4%

※電気自動車を使用している場合など、ガソリン車を所有しておらず、ガソリンスタンドで給油する機会がない方は、選択肢4を選んでください。

問24 過去1年間に地域や職場の地震に関する防災訓練に参加したことがありますか。

(1つだけ○印)

(回答者数 1,468人)

	項目	回答数	回答比率
1	行政や自主防災組織などが主催する訓練に参加した	236	16.1%
2	職場で行った訓練に参加した	359	24.5%
3	その他の訓練(学校などで児童・生徒やその家族を対象にした訓練など)に参加した	79	5.4%
4	参加していない	535	36.4%
5	訓練がなかった、またはあったかわからない	250	17.0%
	無回答	9	0.6%

問25 「南海トラフ地震臨時情報※」が発表されることについて、ご存じでしたか。

(1つだけ○印)

(回答者数 1,468人)

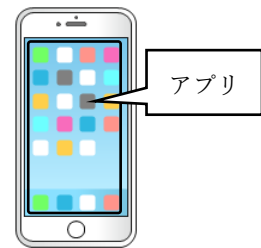
	項目	回答数	回答比率
1	知っている	410	27.9%
2	聞いたことはあるが、内容はよく知らない	467	31.8%
3	知らない	583	39.7%
	無回答	8	0.5%

※ 南海トラフ地震臨時情報：南海トラフ沿いで異常な現象(東海地震の発生など)が観測され、大規模地震発生の可能性が平常時より相対的に高まったと評価された場合に、気象庁から発表される情報

※ 実際の地震の発生を知らせる「緊急地震速報」とは異なります。

5. 防災アプリの利用について

- 高知県では、県民の皆様が、台風や豪雨等による災害から命を守るために、適切な避難行動を速やかにとれるよう、様々な防災情報を提供する機能を備えた「高知県防災アプリ」を運用しています。
- アプリとは、特定の目的をもって作られたスマートフォン等で使用できるソフトウェアのことを指します。
防災分野においても、民間企業をはじめ様々な機関が気象情報や避難情報等をリアルタイムに提供するアプリを運用しています。



問 26 防災情報として何を重視しますか。(当てはまるものすべてに○印)

(回答者数 1,468 人)

	項 目	回答数	回答比率
1	気象情報（大雨、台風情報、土砂災害危険度情報等）	1,325	90.3%
2	地震・津波情報（震度速報、大津波警報等）	1,207	82.2%
3	雨量情報（県内観測局における実際の時間雨量、累加雨量、24h雨量）	740	50.4%
4	河川水位・ダム水位・潮位情報（県内観測局における実際の水位やカメラ映像等）	442	30.1%
5	道路情報（実際の規制情報、カメラ映像等）	545	37.1%
6	避難指示情報等（市町村が発令する緊急安全確保、避難指示、高齢者等避難等）	669	45.6%
7	避難所・避難場所に関する情報（避難所開設情報や避難ルート等）	453	30.9%
8	家族・知人等の安否情報	640	43.6%
9	防災マップ（土砂災害警戒区域・特別警戒区域、津波浸水予測図等）	325	22.1%
10	防災学習（防災マニュアルや防災クイズ等）	91	6.2%
11	その他	11	0.7%
	無回答	19	1.3%

問 27 気象情報（大雨、台風情報等）や避難情報（避難指示や避難所開設情報等）などの防災情報を入手するために、スマートフォンやタブレットで防災アプリを利用していますか。(当てはまるものすべてに○印)

(回答者数 1,468 人)

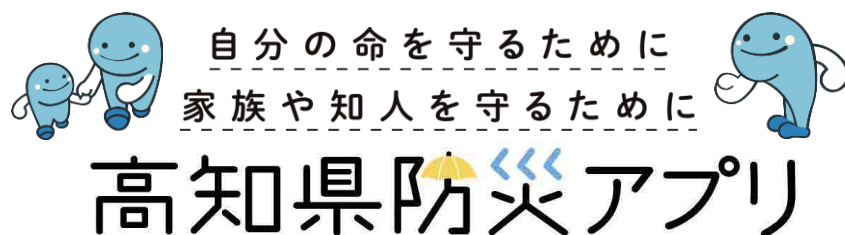
	項 目	回答数	回答比率
1	高知県防災アプリ	311	21.2%
2	県内市町村の提供情報（LINE、防災・行政アプリ等）	303	20.6%
3	NHK・ニュース防災	370	25.2%
4	Yahoo!防災速報	432	29.4%
5	ウェザーニュース	451	30.7%
6	その他	37	2.5%
7	利用していない	441	30.0%
	無回答	13	0.9%

副問1 (問27で「1～6」を選んだ方のみお答えください。)

防災アプリを利用したきっかけは何ですか。(当てはまるものすべてに○印)

(回答者数 1,014人)

	項目	回答数	回答比率
1	テレビ(防災番組やニュース、CM等)	451	44.5%
2	インターネット(WEBCM、バナー広告、YouTube動画等)	471	46.4%
3	各機関のホームページ	130	12.8%
4	SNS(Facebook、Twitter等)	121	11.9%
5	新聞・雑誌広告	71	7.0%
6	ポスター・チラシ	25	2.5%
7	電子案内板・デジタルサイネージ(アーケード内のスクリーン等)	8	0.8%
8	防災啓発冊子(南海トラフ地震に備えちよき等)	70	6.9%
9	広報誌(さんSUN高知、その他自治体発行の広報誌等)	88	8.7%
10	電車広告	4	0.4%
11	防災イベント(高知県地域防災フェスティバル、県政出前講座等)	34	3.4%
12	その他	78	7.7%
	無回答	20	2.0%



インストールはこちら



高知県防災アプリは、防災に関する様々な機能を備えており、災害時の適切な避難行動に、また、防災コミュニケーションツールとしても役立ちます。

高知県防災アプリは、アプリストア又は右上のQRコードから無料でインストール、利用できます。

「主な機能」

- ・ 防災情報や国民保護情報のプッシュ通知
- ・ 防災マップ(避難所や避難場所、ハザードマップ)の表示
- ・ グループSOS機能(安否確認)
- ・ 雨量情報、河川や道路のカメラなどの表示
- ・ 防災学習・防災クイズ
- ・ モード切替(一般モード、ジュニアモード、シニアモード)
- ・ 言語切替(7ヶ国8言語)

※日本語、英語、中国語(簡体字・繁体字)、韓国語、ベトナム語、インドネシア語、タガログ語



6. かかりつけ医及びかかりつけ薬局について

かかりつけ医及びかかりつけ薬局とは、一般的な疾病の治療を担うほか、患者にとって、何でも相談できる上、必要ときには専門医を紹介でき、身近で頼りになる医師などのことを言います。

体調が悪かったり怪我をしたりしたときには、まずは地域の診療所などのかかりつけ医などで診療を受け、症状や病態に応じて高度医療を担う病院を受診するといった役割分担が、患者本人の健康と地域の医療提供体制を守ることに繋がります。

問 28 日ごろから診療を受けるだけでなく、病気や健康に関して相談することができる、かかりつけ医としている医師がいますか。(1つだけ○印)

(回答者数 1,468 人)

	項目	回答数	回答比率
1	いる	614	41.8%
2	いない	838	57.1%
	無回答	16	1.1%

問 29 かかりつけ医に期待することは何ですか。(3つまで○印)

(回答者数 1,468 人)

	項目	回答数	回答比率
1	どんな病気でもまずは診療できること	885	60.3%
2	専門医又は専門医療機関への紹介	690	47.0%
3	健康管理のための助言や指導の継続的な実施	340	23.2%
4	患者に寄り添う親身な対応	602	41.0%
5	健診、検診、予防接種などの実施	205	14.0%
6	これまでの病歴や処方すべてを把握していること	270	18.4%
7	夜間、休日の問い合わせへの対応	278	18.9%
8	感染症発生時など有事への対応	85	5.8%
9	かかりつけ医が不在の時などに連携した別の医師が対応できること	231	15.7%
10	往診や訪問診療などの在宅医療	65	4.4%
11	介護サービスへのつなぎ	32	2.2%
12	その他	15	1.0%
	無回答	32	2.2%

問 30 かかりつけ薬局を決めていますか。(1つだけ○印)

(回答者数 1,468 人)

	項目	回答数	回答比率
1	決めている	467	31.8%
2	決めていない	977	66.6%
	無回答	24	1.6%

問 31 薬剤師にどのようなことを相談したいと思いますか。(3つまで○印)

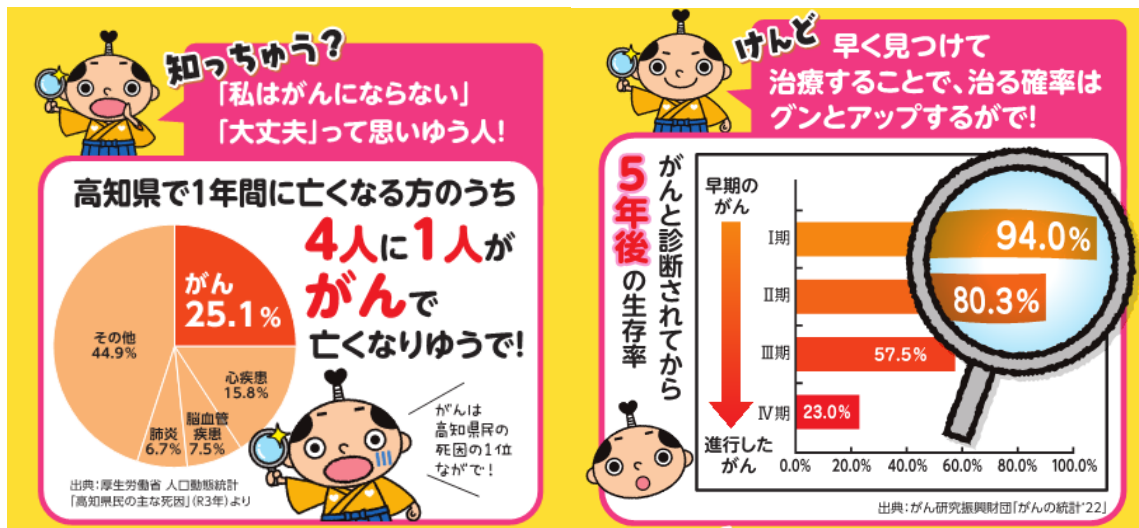
(回答者数 1,468 人)

	項 目	回答数	回答比率
1	薬の効果	911	62.1%
2	薬の副作用や飲み合わせ	1,087	74.0%
3	飲み残し薬の取り扱い	177	12.1%
4	市販薬の選択	354	24.1%
5	健康食品やサプリメントへの助言	123	8.4%
6	自分や家族の病気や検査値に関すること	207	14.1%
7	血圧など健康づくりに関すること	151	10.3%
8	その他	60	4.1%
	無回答	51	3.5%

7. がん検診について

高知県では4人に1人ががんで死亡し、死亡原因の1位になっています。しかしながら、がんは、定期的ながん検診を受診し、早期発見・早期治療を行えば、90%以上が治る*と言われる病気です。

*「治る」：全てのがんを対象とした、診断時からの5年相対生存率。(I期) 出典：がん研究振興財団「がんの統計'22」



そこで、県ではがん検診の受診促進を「日本一の健康長寿県構想」の重点項目の一つとして位置付け、多くの県民の方ながん検診を受診してもらえるよう取り組みを進めています。

例えば、市町村が検診対象者の方に個別に検診の案内を送付したり、一度に複数のがん検診が受診できるセット検診日を増やすことを支援しています。また、乳・子宮頸がん検診を土曜日に実施している医療機関の周知や、お住まいの市町村以外の検診会場でもがん検診が受診できる広域検診を進めています。

今後も、県民の皆さんながん検診の意義・重要性をご理解いただき、ご自身やご家族の安心のために、より多くの方ながん検診を受診していただけるよう、普及啓発や利便性の向上を図っていきたくと考えています。

*詳しくは同封のパンフレット「ちゃんと知っちゅう?がん検診」をご覧ください。

【市町村で実施している主ながん検診】

検診種類	対象者	検診間隔	
胃がん	内視鏡	50歳以上男女	2年に1回
	X線		
肺がん	40歳以上男女	毎年	
大腸がん			
乳がん	40歳以上女性	2年に1回	
子宮頸がん	20歳以上女性		

※胃がんの内視鏡検診は一部の市町村でのみ実施中です



市町村検診の問い合わせ先や、検診日程は県のホームページで確認

健康維新の志士 けん しん太郎くん

高知県 がん検診

検索



問 32 あなたが、がんについて知っていることをお答えください。

(当てはまるものすべてに○印)

(回答者数 1,468 人)

	項 目	回答数	回答比率
1	がんは、早期発見・早期治療をすることで90%以上が治ると言われている	1,077	73.4%
2	生涯のうち約2人に1人が、がんになる可能性がある	858	58.4%
3	がんの予防には、たばこを吸わないことが最も効果的である	747	50.9%
4	お酒の飲み過ぎは、食道がん・大腸がん・肝臓がんなどのリスクを確実に高める	849	57.8%
5	子宮頸がんのように、若い世代で増えているがんもある	863	58.8%
6	がんの主な治療法には、手術療法、放射線療法、薬物療法(化学療法含)がある	933	63.6%
	無回答	38	2.6%

<がん検診受診率> 国民生活基礎調査(厚生労働省 H31)

	肺がん	胃がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん
高知県	55.4%	46.4%	44.6%	45.1%	50.0%
全国平均	49.4%	42.4%	44.2%	43.7%	47.4%

いずれの検診も全国平均を上回っています。がんの早期発見・早期治療のため、受診してください。

問 33 子宮頸がん検診は20歳以上の女性、乳がん検診は40歳以上の女性、肺がん・胃がん・大腸がん検診は40歳以上の全ての住民の方を対象に市町村が実施しなければならないこととなっています。また、職場健診や加入している医療保険者でがん検診が実施されている場合もあります。

あなたは、次の「1～5」のうち、どれに該当しますか。

(19歳以下の女性と39歳以下の男性は「5」選んでください)

(当てはまるものすべてに○印)

(回答者数 1,468 人)

	項 目	回答数	回答比率
1	市町村が実施するがん検診の対象者である	735	50.1%
2	職場が実施するがん検診の対象者である	403	27.5%
3	加入している医療保険者が実施するがん検診の対象者である	138	9.4%
4	どのがん検診の対象者かわからない	127	8.7%
5	どの対象でもない(19歳以下の女性と39歳以下の男性はこちらに○)	249	17.0%
	無回答	62	4.2%

問 34 あなたが、過去 1 年間（子宮頸がん及び乳がん検診は過去 2 年間）に受診したがん検診の種類をお答えください。（健康診断や人間ドックで受診したものも含みます。）
（当てはまるものすべてに○印）

（回答者数 1,468 人）

	項 目	回答数	回答比率
1	いずれも受けていない	575	39.2%
2	肺がん検診（胸部エックス線検査・CT検査）	518	35.3%
3	胃がん検診（胃部エックス線検査・胃内視鏡検査）	465	31.7%
4	大腸がん検診（便潜血検査・大腸内視鏡検査）	461	31.4%
5	子宮頸がん検診（細胞診検査）	394	26.8%
6	乳がん検診（マンモグラフィ・乳房超音波検査）	353	24.0%
	無回答	65	4.4%

副問 1 （問 34 で「1」を選んだ方と、女性の方で「5・6」のいずれか一方又は両方ともを選ばなかった方のみお答えください。）

がん検診を受けていない理由をお答えください。（当てはまるものすべてに○印）

（回答者数 809 人）

	項 目	回答数	回答比率
1	忙しくて時間が取れないから	208	25.7%
2	受けるのが面倒だから	186	23.0%
3	必要な時は医療機関を受診するから	176	21.8%
4	がん検診の内容がわからないので不安だから	45	5.6%
5	検診費用が高いから	79	9.8%
6	医療機関にかかっているから	59	7.3%
7	がん検診を受診できることを知らなかったから	23	2.8%
8	がん検診を受診する方法を知らなかったから	39	4.8%
9	がん検診の対象年齢ではないから	98	12.1%
10	近隣に受診可能な医療機関がないから	9	1.1%
11	その他	62	7.7%
	無回答	119	14.7%

問 35 がん検診に関する情報を提供するにあたり、どの媒体を活用することがより効果的であると思いますか。（2 つまで○印）

（回答者数 1,468 人）

	項 目	回答数	回答比率
1	テレビ	832	56.7%
2	ラジオ	53	3.6%
3	新聞	203	13.8%
4	リーフレット・チラシ	122	8.3%
5	広報誌（医療機関）	125	8.5%
6	広報誌（県・市町村）	400	27.2%
7	インターネット	421	28.7%
8	SNS	246	16.8%
9	口コミ	64	4.4%
10	その他	26	1.8%
	無回答	41	2.8%

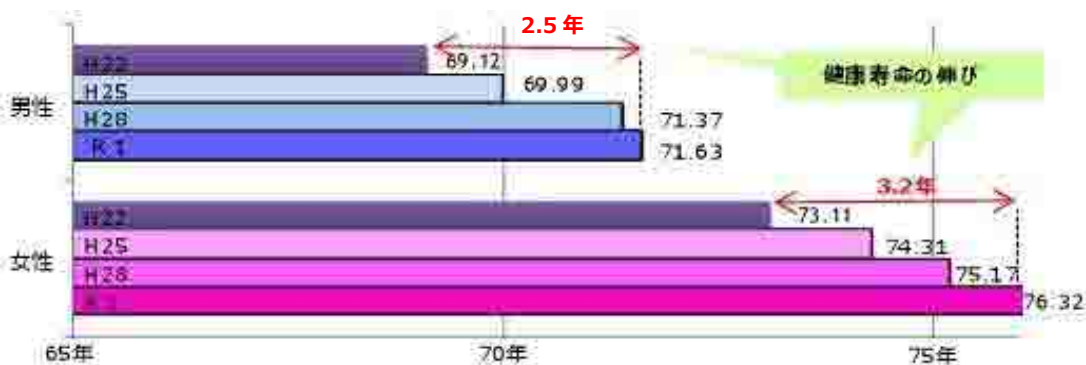
8. 県民の健康づくりについて

高知県では、平成22年2月に「日本一の健康長寿県構想」を策定し、保健・医療・福祉の各分野の課題解決に真正面から取り組んできました。

令和2年3月には、これまでの取り組みを一層深化、発展させることを基本としながら、より数値目標を明確にすることに配慮して、第4期「日本一の健康長寿県構想」を策定し、『県民の誰もが住み慣れた地域で、健やかで心豊かに安心して暮らし続けることのできる高知県』の実現に向けて全力で取り組みを進めています。

第4期構想の柱のひとつとして、『健康寿命の延伸に向けた意識醸成と行動変容の促進』を設定しています。県民の皆さまの健康寿命を全国平均以上にまで延伸することを目標に掲げ、男性の健康寿命を平成28年の71.37年から令和5年には73.02年以上に、また、女性は75.17年から77.47年以上にすることを目指しています。

(※女性はR1年時点で、当初の目標の76.05年を達成したため、さらなる延伸を目指す。)



※ 健康寿命とは…介護などを受けずに健康的に社会生活が送れる期間。

問36 あなたは現在、健康上の問題で日常生活に何か影響がありますか。

(回答者数 1,468人)

	項目	回答数	回答比率
1	ある	174	11.9%
2	ない	1,268	86.4%
	無回答	26	1.8%

副問1 (問36で「1」を選んだ方のみお答えください。)

それはどのようなことに影響がありますか。(当てはまるものすべてに○印)

(回答者数 174人)

	項目	回答数	回答比率
1	日常生活動作(起床、衣服脱着、食事、入浴など)	63	36.2%
2	外出(時間や作業量などが制限される)	55	31.6%
3	仕事、家事、学業(時間や作業量などが制限される)	97	55.7%
4	運動(スポーツを含む)	66	37.9%
5	その他	14	8.0%
	無回答	2	1.1%

問 37 高知県は「日本一歩かない県」であることを知っていますか。

(回答者数 1,468 人)

	項 目	回答数	回答比率
1	知っている	394	26.8%
2	知らない	1,059	72.1%
	無回答	15	1.0%

問 38 ご自身の1日の平均の歩数はおよそどのくらいですか。(1つだけ○印)

歩数の目安：1,000 歩＝約 10 分

(回答者数 1,468 人)

	項 目	回答数	回答比率
1	4,000 歩未満	574	39.1%
2	4,000～6,000 歩未満	297	20.2%
3	6,000～8,000 歩未満	183	12.5%
4	8,000～10,000 歩未満	108	7.4%
5	10,000 歩以上	72	4.9%
6	把握していない	225	15.3%
	無回答	9	0.6%

1 日平均歩数

年齢区分	性別	国目標値* ¹	全国平均* ²	高知県* ³
20～64 歳	男性	9,000	7,864	6,210
	女性	8,500	6,685	5,960
65 歳以上	男性	7,000	5,396	4,894
	女性	6,000	4,656	4,229

* 1 健康日本 21 (第二次) * 2 令和元年国民健康・栄養調査

* 3 令和 4 年高知県県民健康・栄養調査

問 39 運動習慣(週 2 日以上、1 回 30 分以上の運動を 1 年以上継続)はありますか。

(1つだけ○印)

(回答者数 1,468 人)

	項 目	回答数	回答比率
1	ある	419	28.5%
2	ない	963	65.6%
3	分からない	79	5.4%
	無回答	7	0.5%

副問1 (問39で「2」を選んだ方のみお答えください。)

運動習慣がない理由について教えてください。(当てはまるものすべてに○印)

(回答者数 963人)

	項目	回答数	回答比率
1	忙しくて時間がない	454	47.1%
2	健康なので特に何もする必要はない	73	7.6%
3	経済的なゆとりがない	74	7.7%
4	健康上の理由から運動できない	55	5.7%
5	施設や機会がない	122	12.7%
6	何をどのようにやったらよいかわからない	108	11.2%
7	一緒にやる仲間がいない	107	11.1%
8	特に理由はない	377	39.1%
	無回答	9	0.9%

問40 あなたは日ごろ、健康のために次のような行動をしていますか。

(当てはまるものすべてに○印)

(回答者数 1,468人)

	項目	回答数	回答比率
1	規則正しく朝・昼・夕の食事をとっている	765	52.1%
2	バランスのとれた食事をしている	464	31.6%
3	うす味のもの食べている	331	22.5%
4	食べ過ぎないようにしている	444	30.2%
5	適度に運動(スポーツを含む)をするか身体を動かしている	400	27.2%
6	睡眠を十分にとっている	500	34.1%
7	たばこを吸わない	804	54.8%
8	お酒を飲み過ぎないようにしている	603	41.1%
9	ストレスをためないようにしている	342	23.3%
10	その他	19	1.3%
11	特に何もしていない	174	11.9%
	無回答	14	1.0%

社会的なつながりを持つことは、精神的健康、身体的健康、生活習慣、死亡リスク等により影響を与えることが分かっています。また、地域とのつながりが強い人は、様々な人々と交流する機会や社会活動に参加する等のきっかけがあることから、健康状態がよいとされています。

問41 あなたとあなたのお住まいの地域の人々とのつながりは強いと思いますか。

(1つだけ○印)

(回答者数 1,468人)

	項目	回答数	回答比率
1	強くそう思う	61	4.2%
2	どちらかといえばそう思う	380	25.9%
3	どちらともいえない	490	33.4%
4	どちらかといえばそう思わない	312	21.3%
5	全くそう思わない	213	14.5%
	無回答	12	0.8%

9. 高知型地域共生社会の実現に向けた支え合いの地域づくりについて

人口減少や少子高齢化に加え、核家族や単身世帯の増加、デジタル化の進展などにより人との接触機会が減ってきたことで、地域のつながりや支え合いの力が弱まっています。

こうした課題への対応として、高知県では、「高知型地域共生社会」の取り組みを進めています。

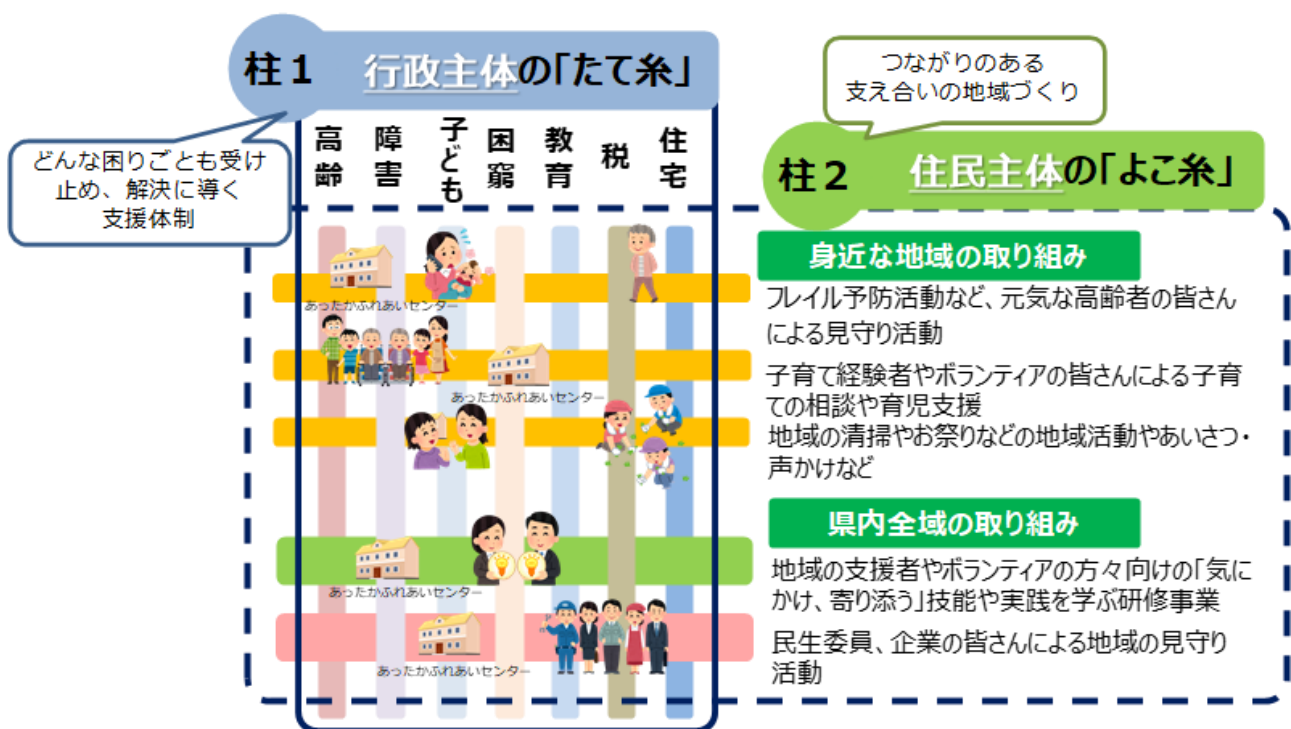
具体的には、行政主体の「たて糸」として、行政がどんな困りごとでも受け止め、関係者が連携して解決に導く体制づくりを進めます。

さらに、住民主体の「よこ糸」として、県下に広く展開する「あったかふれあいセンター」を拠点にしながら人々とのつながりや支え合いの力の再生に向けた取り組みを進めます。

特に「よこ糸」では、地域の見守り活動や清掃活動、お祭りなど、地域の集いの場があることが、困りごとを見逃さない支え合いの地域づくりにつながります。日々のあいさつや声かけなどの小さな行動もその大切な一歩です。

県民のみなさんと一緒にオール高知で「高知型地域共生社会」の実現に向けた支え合いの地域づくりを進めたいと考えています。

<高知型地域共生社会の展開イメージ>



「高知型地域共生社会」の実現に向けて、ご意見を今後の施策に反映するため、「よこ糸」である支え合いの地域づくりについてお伺いします。

問 42 あなた自身に悩みや困りごとがある場合、家族や親戚以外の誰に相談しますか。
(3つまで○印)

(回答者数 1,468人)

	項目	回答数	回答比率
1	友人・知人	1,112	75.7%
2	近所の人	129	8.8%
3	民生委員・児童委員	23	1.6%
4	自治会長・町内会長等	16	1.1%
5	お住まいの市町村窓口	117	8.0%
6	お住まいの市町村社会福祉協議会	33	2.2%
7	ケアマネジャーや子育て支援員等の専門職	37	2.5%
8	あったかふれあいセンター	6	0.4%
9	NPOなど民間団体	4	0.3%
10	地域ボランティア	4	0.3%
11	その他の人、団体等	63	4.3%
12	相談する人がいない	283	19.3%
	無回答	21	1.4%

問 43 あなたは現在、地域の活動に参加していますか。(1つだけ○印)

(回答者数 1,468人)

	項目	回答数	回答比率
1	積極的に参加している	66	4.5%
2	積極的ということではないが参加している	323	22.0%
3	頼まれたら時々参加している	245	16.7%
4	ほとんど参加したことがない	305	20.8%
5	全く参加していない	517	35.2%
	無回答	12	0.8%

※「地域の活動」の例

清掃活動、自治会、お祭りなどの地域のイベント、サロンなどの交流活動など(問 44 参照)

問 44 地域での福祉に関する活動のうち、参加したことがある、もしくは、今後参加したいと思う活動はどれですか。(当てはまるものすべてに○印)

(回答者数 1,468人)

	項目	回答数	回答比率
1	ごみ拾いや溝掃除、草刈りなどの清掃活動	729	49.7%
2	自治会や町内会、子ども会、公園愛護グループ等の活動	287	19.6%
3	介護予防体操などの健康づくりに関する活動	99	6.7%
4	子ども食堂に関する活動	116	7.9%
5	高齢者・障害のある人・子どもなど、地域で気になる人への定期的な安否の確認などの見守り活動	107	7.3%
6	電話等で話し相手や相談相手になる傾聴	47	3.2%
7	サロンなど、地域住民等が気軽に集い交流をする活動	55	3.7%
8	地域の防災訓練や自主防災組織等の防災・減災活動	284	19.3%
9	声かけやあいさつ運動など、地域とのつながりを強める活動	150	10.2%
10	1～9以外の地域のイベントの企画・運営活動	66	4.5%
11	参加できない、したくない	416	28.3%
	無回答	38	2.6%

10. グリーン化（地球温暖化対策）について

県では、令和 32 年（2050 年）のカーボンニュートラル※の実現に向けて、温室効果ガスの削減に取り組んでいます。

令和 4 年 3 月に本県における「2050 年カーボンニュートラルの実現」と「経済と環境の好循環」の創出に向けた行動計画である「高知県脱炭素社会推進アクションプラン（以下、アクションプラン）」を策定し、「令和 12 年度（2030 年度）に平成 25 年度（2013 年度）比で 47%以上温室効果ガスを削減すること」を目標に、県民運動として取り組んでいます。

※ カーボンニュートラルとは・・・二酸化炭素をはじめとする温室効果ガス排出量から、森林などによる吸収量を差し引いて、実質的な温室効果ガス排出量をゼロとすること。

問 45 地球温暖化問題に対して、どの程度関心がありますか。（1つだけ○印）

（回答者数 1,468 人）

	項目	回答数	回答比率
1	非常に関心がある	392	26.7%
2	少し関心がある	780	53.1%
3	ほとんど関心がない	211	14.4%
4	全く関心がない	64	4.4%
	無回答	21	1.4%

問 46 高知県がアクションプランに基づき、カーボンニュートラルの実現に向けた様々な取組を進めていることを知っていますか。（1つだけ○印）

＜アクションプランに基づく令和 4 年度の主な取組内容＞

- ・レジ袋削減を進める取り組み（マイバックキャンペーン）
（高知県地球温暖化防止県民会議）
- ・クールビズ、ウォームビズの推進
- ・脱炭素に関する普及啓発イベント、シンポジウムの開催
（小泉元環境大臣を招待した脱炭素シンポジウムの開催など）
- ・Web 版環境パスポート
- ・高知県脱炭素まんが大賞
- ・地球温暖化防止に向けた普及啓発素材の作成
（高知家ゼロカーボン・アクション BOOK）など



シンポジウム等の開催



パンフレット等の作成



高知県
環境パスポート



高知県脱炭素
まんが大賞

（回答者数 1,468 人）

	項目	回答数	回答比率
1	詳しく知っている	32	2.2%
2	何となく知っている	398	27.1%
3	少し知っている	449	30.6%
4	全く知らない	558	38.0%
	無回答	31	2.1%

問 47 地球温暖化対策について、次の中であなたが既に取り組んでいるものはありますか。

(当てはまるものすべてに○印)

問 48 地球温暖化対策について、次の中で、あなたがまだ取り組んでいないが、今後取り組んでいきたいと思うものはありますか。

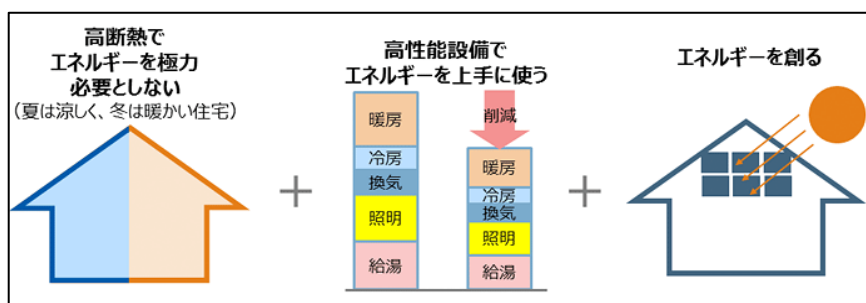
(当てはまるものすべてに○印)

		問 47	問 48	
1	エアコンの温度設定を夏は28℃、冬は20℃程度にしているほか、利用時間をできるだけ短くする	回答数	578	250
		回答比率	39.4%	17.0%
2	電気使用量を減らす（こまめに消灯する、テレビの視聴時間を少なくする、冷蔵庫にもものを詰め込みすぎないなど）	回答数	773	320
		回答比率	52.7%	21.8%
3	エコバッグでの買い物を心がける	回答数	1,090	177
		回答比率	74.3%	12.1%
4	通勤・通学は、なるべく公共交通機関または徒歩・自転車を使用する	回答数	220	154
		回答比率	15.0%	10.5%
5	照明器具をLEDに替えるなど、家電製品の買い替え時には省エネ性能が高いもの買い替える	回答数	773	326
		回答比率	52.7%	22.2%
6	日頃からマイボトルを活用する	回答数	709	210
		回答比率	48.3%	14.3%
7	従来よりも少ないガスや電力で給湯できる設備（エコジョーズ、エコキュート、エネファームなど）を設置する	回答数	418	200
		回答比率	28.5%	13.6%
8	太陽光発電システム、家庭用蓄電池のいずれかもしくは両方を設置する	回答数	186	234
		回答比率	12.7%	15.9%
9	低燃費車（ハイブリッド、プラグインハイブリッド、電気自動車、燃料電池自動車 ^{※1} ）を使用している	回答数	272	352
		回答比率	18.5%	24.0%
10	自宅を省エネ住宅（ZEH ^{※2} など）にする（リフォームを含む）	回答数	71	175
		回答比率	4.8%	11.9%
11	多少の価格差ならより環境に優しい製品やサービス等を積極的に選択する	回答数	295	341
		回答比率	20.1%	23.2%
12	何もしていない（しない）	回答数	78	128
		回答比率	5.3%	8.7%
13	その他	回答数	9	7
		回答比率	0.6%	0.5%
無回答		回答数	28	211
		回答比率	1.9%	14.4%

※1 水素と酸素の化学反応で発電し、走行時に二酸化炭素を排出しない自動車のこと。

※2 1年間の消費エネルギーより住宅でつくったエネルギー（太陽光発電など）のほうが多い、または差がゼロになる住宅のこと。

(ZEHのイメージ図)



出典: 経済産業省 資源エネルギー庁
省エネポータルサイト

問 49 今後、温室効果ガスの排出を削減していくために、県が力を入れるべき施策は何だと考えますか。(当てはまるものすべてに○印)

(回答者数 1,468人)

	項目	回答数	回答比率
1	省エネ住宅（ZEHなど）や電気自動車等に対する補助・減税の充実	597	40.7%
2	電気自動車の充電スタンドの設置拡大	479	32.6%
3	低燃費車の普及に向けた支援の強化	589	40.1%
4	再生可能エネルギー（太陽光発電、水力発電、風力発電、バイオマス発電など）の普及拡大に向けた支援の強化	611	41.6%
5	公用車への電気自動車の導入	259	17.6%
6	環境への負荷の少ない製品やサービスの開発・普及に向けた支援の強化	430	29.3%
7	公共交通機関の利用促進に向けた取組の強化	373	25.4%
8	温室効果ガスを吸収する森林の間伐や再造林による整備の強化	455	31.0%
9	CLT ^{※1} の普及や住宅や建築物への県産材の活用など木材利用の推進	267	18.2%
10	LEDの導入などの、家庭でできる地球温暖化対策の普及啓発の強化	377	25.7%
11	教育現場での地球温暖化教育の充実・強化	424	28.9%
12	温室効果ガス削減に取り組む動機付けとなる仕組み（地域通貨・ポイント制度など）の導入	220	15.0%
13	新たな産業の芽となる可能性を持つプロジェクトの創出・推進（化石燃料に頼らないグリーンLPガス ^{※2} の技術開発やプラスチック代替素材の活用など）	368	25.1%
14	その他	37	2.5%
	無回答	42	2.9%

※1 CLT(Cross Laminated Timber：直交集成板)は、欧州で開発された工法であり、板の層を各層で互いに直交するように積層接着した厚型パネルのことを呼びます。



出典：一般社団法人日本CLT協会
CLTポータルサイト



高知県では、林業・木材産業の成長産業化及び木材需要の拡大を通じて地方創生を実現するため、CLTを活用した木造建築の推進しています。

【参考パンフレット】



※2 グリーンLPガスとは、森林資源や海藻等のバイオマスから生産するグリーンなLPガスであり、現在、大学、国やLPガス元売り事業者等による産学官連携により、生産技術開発と活用に向けた取り組みなどを進めています。



高知県でも令和4年5月に「高知県グリーンLPガスプロジェクト推進会議」を設立し、取り組みを支援しています。

【概要】



11. 空き家問題について

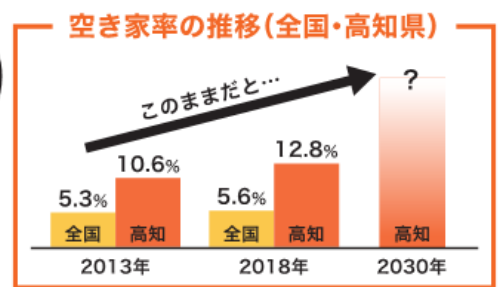
高知県の空き家数は約5万戸と推計されており、空き家率は12.8%と全国ワースト1位※であり、今後も高齢化の進展や人口・世帯数の減少に伴い、さらなる増加が懸念されています。

その一方で、高知県へ移住を希望する方のうち、住宅が見つからず移住を断念するケースが毎年200件以上も発生しており、地域の課題となっています。

また、放置され老朽化した空き家は、倒壊の危険性や周辺へ悪影響を与える可能性があるため、住環境や防災面からも課題となっています。

【空き家をそのままにしておくデメリット・リスク】

- ・固定資産税、火災保険料などの維持費負担
- ・ガラスや瓦などの危険物の落下
- ・地震により避難路を塞いでしまうおそれ
- ・放火や不審者の侵入
- ・地域の生活環境、景観の悪化 など



※総務省「平成30年住宅・土地統計調査」

総務省「平成25年住宅・土地統計調査」「平成30年住宅・土地統計調査」

問 50 いざというときに家をどうするか家族で話し合っておくことは、空き家の発生抑制のために大事なことです。あなたは、空き家またはご自身が住んでいる家や実家の将来のことについて、家族・親族と話し合ったことがありますか。(1つだけ○印)

(回答者数 1,468人)

	項目	回答数	回答比率
1	話し合ったことがある	423	28.8%
2	話し合ったことはないが、今後話し合いたい	642	43.7%
3	話し合う予定はない	379	25.8%
	無回答	24	1.6%

副問 1 (問50で「1」もしくは「2」を選んだ方のみお答えください。)

話し合いのきっかけとなったこと、またはなりそうなことは何ですか。

(当てはまるものすべてに○印)

(回答者数 1,065人)

	項目	回答数	回答比率
1	空き家になったとき(居住者の引っ越しや入院、施設入所など)	471	44.2%
2	居住者本人の状況の変化(転職や退職、体調の変化など)	463	43.5%
3	家族・親族の状況の変化(子や孫の就職、結婚、出産など)	405	38.0%
4	お盆や正月などで家族・親族が集まる機会	179	16.8%
5	冠婚葬祭(結婚式、法事など)で家族・親族が集まる機会	127	11.9%
6	行政からの連絡(固定資産税、空き家の状況など)	49	4.6%
7	近隣からの苦情	22	2.1%
8	その他	25	2.3%
	無回答	14	1.3%

副問2 (問50で「3」を選んだ方のみお答えください。)

それはなぜですか。(1つだけ○印)

(回答者数 379人)

	項目	回答数	回答比率
1	話し合いをする必要性を感じない	172	45.4%
2	家族・親族と話し合える状態にない(入院、入所など)	13	3.4%
3	今後も自分が空き家を所有又は管理する可能性がない	158	41.7%
4	その他	24	6.3%
	無回答	12	3.2%

問51 今後、空き家の活用や処分※を進める際、問題となると思うことは何ですか。

(当てはまるものすべてに○印)

※例) 家族で使う、売買、賃貸、譲る、解体など

空き家を所有・管理していない方は、「もし自分が空き家の所有者となったら」と仮定してお答えください。

(回答者数 1,468人)

	項目	回答数	回答比率
1	家が古い	682	46.5%
2	家の中に荷物を置いたままにしている	730	49.7%
3	敷地内に使用中の畑や先祖の墓がある	192	13.1%
4	祖父母や父母の代から名義変更ができていない	303	20.6%
5	親族間のトラブル	239	16.3%
6	思い入れがあるため手放すのに躊躇する	274	18.7%
7	リフォームや解体のための費用が捻出できない	814	55.4%
8	何をしたらいいかわからない	263	17.9%
9	その他	44	3.0%
	無回答	42	2.9%

高知県が運営する「高知県空き家ポータルサイト」では、空き家に関する基本情報や県内の空き家活用事例を掲載しているほか、高知県空き家相談窓口のお問合せメールフォームも設置しています。詳しくは右のQRコードから！

＼詳しくはこちら／



12. 関西戦略の次期戦略について

関西圏では、令和7年（2025年）の大阪・関西万博などの大規模プロジェクトが予定されており、これらの大規模プロジェクトを契機として、経済活力がますます高まることが見込まれております。

こうした経済活力を、本県経済の継続的な発展につなげていくために、関西圏と本県との経済連携の方策を総合的にとりまとめた「関西・高知経済連携強化戦略」（以下「関西戦略」という。）を令和3年3月に策定しました（計画期間 令和3年度～令和5年度）。

関西戦略は、「観光推進」「食品等外商拡大」「万博・IR連携」の3つのプロジェクトに基づく取り組みと、「これら3つのプロジェクトを横断的に支える取り組み」で構成しており、取り組みを進める中で見えてきた課題などに対応するため、毎年改定を行ってきました。

今年度は、来年度からの次期戦略の策定に向けて準備を行っています。

【観光推進プロジェクト】

関西圏の在住者や関西圏を訪れる国内外の観光客をターゲットとして、本県への誘客につなげるためのプロジェクト

【食品等外商拡大プロジェクト】

関西圏の消費者や企業等をターゲットとして、本県の農・水産物や加工食品のほか、県産木材、工業製品などの外商拡大につなげるためのプロジェクト

【万博・IR連携プロジェクト】

万博等の大規模プロジェクトを契機として関西圏を訪れる国内外の観光客をターゲットとして、本県への誘客や飲食店等における県産食材等の外商拡大、関連施設の整備における県産木材や県内企業の有する技術の活用などにつなげるためのプロジェクト

【3つのプロジェクトを横断的に支える取り組み】

上記3つのプロジェクトの取り組みを横断的に支えるため、関西圏での情報発信や関西圏の企業や人材等の活力を本県に呼び込むための取り組み

※ 「IR」とは、国際会議場や展示場、ホテル、レストラン、ショッピングモール、エンターテインメント施設、カジノなどで構成される一群の施設で、民間事業者が一体的に設置し、運営するものです。

大阪においては「大阪IR」として、大阪IR株式会社（中核株主：合同会社日本MGMリゾート、オリックス株式会社／少数株主：関西地元企業を中心とする20社）が夢洲に設置し、2029年から運営する予定です。



©Expo 2025



問 52 関西戦略のうち、特に力を入れるべきものは何ですか。(3つまで○印)

(回答者数 1,468人)

	項 目	回答数	回答比率
1	アンテナショップの設置 (食や観光等の情報発信拠点)	664	45.2%
2	観光客誘致 (関西圏の在住者や関西圏を訪れる国内外の観光客)	616	42.0%
3	県産品等の外商の拡大 (農・水産物、加工食品、木材、工業製品等)	892	60.8%
4	大阪・関西万博や大阪 I R との連携 (万博や I R に訪れる国内外の観光客誘致、関連施設等での県産食材や木材等の外商拡大)	370	25.2%
5	プロモーションの強化 (メディアや著名人を活用した P R)	308	21.0%
6	U I ターンの促進	410	27.9%
7	関西の企業や団体への知事のトップセールス	159	10.8%
8	その他	46	3.1%
	無回答	57	3.9%

